

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-136209

(P2012-136209A)

(43) 公開日 平成24年7月19日(2012.7.19)

(51) Int.Cl.

B 6 2 H 1/02 (2006.01)

F 1

B 6 2 H 1/02

E

B 6 2 H 1/02

F

テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 1 書面 (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2010-294857 (P2010-294857)

(22) 出願日 平成22年12月27日 (2010.12.27)

(71) 出願人 511017324

株式会社フルタイムインターナショナル
大阪府大阪市北区西天満1丁目13番14号
エフアイビル

(72) 発明者 古田 政治

大阪市北区西天満1丁目13番14号 エ
フアイビル 株式会社フルタイムインターナシ
ョナリテ内

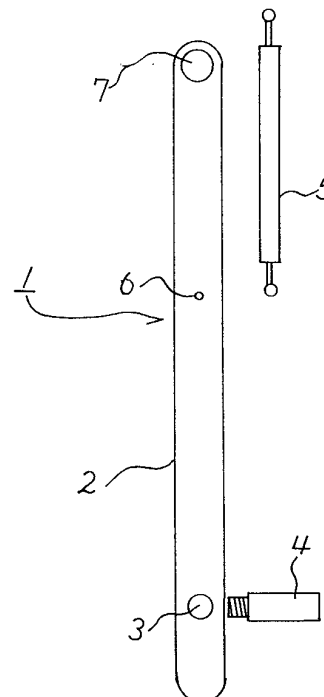
(54) 【発明の名称】 自動二輪車用スタンド

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】自動二輪車に乗る人の利き脚等に応じて自動二輪車の左右方向に取り付けすることができ、安全に自動二輪車に乗車及び駐輪をすることができる自動二輪車用スタンドを提供する。

【解決手段】自動二輪車のフレームの下部又は下方側面に軸支し、水平位置と垂直位置との間で回転するスタンド本体2と、該スタンド本体先端側に取り付けられた突起部4から構成された自動二輪車用スタンド1において、前記スタンド本体は表裏両面が同様に形成され、且つ先端側に貫通孔3が穿孔され突起部を表裏両面のどちらからでも貫通孔に螺合できる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

自動二輪車のフレーム下部面、又は下方側面に軸支し水平位置と垂直位置との間で回転するスタンド本体と、該スタンド本体先端側に取り付けられた突起部から構成された自動二輪車用スタンドにおいて、前記スタンド本体は表裏両面が同様に形成し、且つ先端側に貫通孔が穿孔され突起部を表裏両面のどちらからでも該貫通孔に螺合できることを特徴とする自動二輪車用スタンド。

【請求項 2】

前記スタンド本体が、複数の棒状体を連結して構成されている請求項 1 に記載の自動二輪車用スタンド。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】**

本発明は自動二輪車を駐輪する際に使用する自動二輪者用スタンドに関する。

【背景技術】**【0001】**

従来、自動二輪車用スタンドは、エンジン、タンク、及びマフラー等の取り付けられたフレームの略中央下方側面に一端側を軸支し、水平位置より地面への垂直位置まで回転する棒状のスタンド本体と、該スタンド本体の先端側に取り付けられ脚で蹴ることによってスタンド本体を回転する突起部と、一端側をスタンド本体の中央に連結し他端側をフレームに連結したバネとから構成された通称サイドスタンドと呼ばれる自動二輪車用スタンドがある。

【0002】

上記自動二輪車用スタンドを用いて駐輪する場合は、突起部を脚で蹴り下げることで、スタンド本体を水平位置より垂直位置へ時計方向に回転して自動二輪車を斜め状態で立てて駐輪する。また、駐輪状態を解除する場合は、前記突起部を蹴り上げスタンド本体を垂直位置より水平方向へ反時計方向に回転することで解除する。

【0003】

また、他の自動二輪車用スタンドとしては、エンジン等の取り付けられたフレームの略中央下部面に軸支し、水平位置より地面への垂直位置まで回転し略 H 字状で、2 本の脚部を有するスタンド本体と、該スタンド本体の左側の脚部に取り付けられ脚で蹴ることによってスタンド本体を水平位置より垂直位置に回転する突起部と、一端側をスタンド本体の脚部に連結し他端側をフレームに連結したバネとから構成された通称中央スタンドと呼ばれる自動二輪車用スタンドがある。

【0004】

上記自動二輪車用スタンドを用いて駐輪する場合は、ハンドルを両手で握持し自動二輪車を後方に移動するとともに突起部を脚で蹴り下げることでスタンド本体を水平位置より垂直位置に時計方向に回転し、スタンド本体の 2 本の脚で自動二輪車を立てた状態で駐輪する。また、駐輪を解除する場合は、ハンドルを両手で握持し自動二輪車を前方に移動するとともに突起部を脚で蹴り上げることでスタンド本体を垂直位置より水平位置に反時計方向に回転することで解除する。

【発明が解決しようとする課題】**【0005】**

しかしながら、上記従来の自動二輪車用スタンドは、フレームの左側に取り付けられ、主に右脚で蹴り下げ及び蹴り上げしなければならず、利き足が逆で左脚の場合利き脚でない脚を使用するために、慣れるまでに時間が係るとともに違和感を残しスムーズに利用できない。特に、中央スタンドと呼ばれる自動二輪車用スタンドを蹴り下げる場合は、突起部を蹴るだけでなく、自動二輪車を後方に移動するために、同時に二つの動作を必要とし、さらにスムーズに利用できない欠点があった。

【0006】

また、左利きの場合は、自動二輪車の左側に位置し両手でハンドルを握持した状態ではスムーズに自動二輪車を移動できない。

10

20

30

40

50

【 0 0 0 7 】

そこで、本発明は左利きの人や利き脚が左脚である人にとっても容易にスタンドを垂直位置及び水平位置に回動することのできる自動二輪車用スタンドを提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 8 】

上記課題を解決する本発明の自動二輪用スタンドの解決手段は、請求項 1 に記のように、自動二輪車のフレーム下部面又は下方側面に軸支し、水平位置と垂直位置との間で回動するスタンド本体と、該スタンド本体先端側に取り付けられた突起部から構成された自動二輪車用スタンドにおいて、前記スタンド本体は表裏両面が同様に形成し、且つ先端側に貫通孔が穿孔され突起部を表裏両面のどちらからでも貫通孔に螺合できることを特徴とする。

10

【 0 0 0 9 】

また、具体的には請求項 2 に記載のように、前記スタンド本体が、複数の棒状態を連結して構成されていることを特徴とする。

【発明の作用及び効果】

【 0 0 1 0 】

次に、本発明の自動二輪車用スタンドの作用、効果を記載する。

【 0 0 1 1 】

本発明の自動二輪車用スタンドは、自動二輪車のフレームの略中央下側面に一端側を軸支したスタンド本体と、該スタンド本体の先端側に穿孔した貫通孔に突起部を螺合し、バネをスタンド本体の中央部とフレームとに連結することで取り付ける。

20

【 0 0 1 2 】

この際、スタンド本体は表裏両面が同様に形成されているために、利き脚又は利き腕に応じて、フレームの左側面でも右側面でも取り付けでき、しかも突起部も貫通孔の両側どちらからも螺合できるので、スタンド本体を取り付けた方向に応じて対応することができる。

【 0 0 1 3 】

上記自動二輪車用スタンドを使用して駐輪する場合は、脚で突起部を蹴り下げスタンド本体を水平位置より垂直位置まで回動して自動二輪車を駐輪する。また、駐輪を解除する場合は、突起部を蹴り上げスタンド本体を垂直位置より水平位置に回動することで駐輪を解除する。

30

【 0 0 1 4 】

また、自動二輪車のフレームの略中央下部面に一端側を軸支したスタンド本体と、該スタンド本体の先端側に穿孔した貫通孔に突起部を螺合し、バネをスタンド本体の中央部とフレームに連結することで取り付ける。

【 0 0 1 5 】

この際、突起部はスタンド本体の表裏どちら側にも螺合することできるので利き脚に応じてスタンド本体の貫通孔に螺合する。

【 0 0 1 6 】

上記に自動二輪車用スタンドを使用して駐輪する場合は、ハンドルを両手で握持し自動二輪車を後ろに移動するとともに突起部を蹴り下げスタンド本体を水平位置より垂直位置へ回動することで駐輪する。駐輪を解除する場合は、ハンドルを両手で握持し自動二輪車を前に移動するとともに突起部を蹴り上げスタンド本体を垂直位置より水平位置へ回動することで解除する。

40

【 0 0 1 7 】

このように、自動二輪車を運転する人の利き脚等に応じてスタンド本体の取り付け側を決定し、又は突起体の取り付け側を決定することでスムーズに利き脚でスタンド本体を回動することができる。

【 0 0 1 8 】

50

このため、容易に自動二輪車の駐輪及びその解除を可能とする。

【発明を実施するための最良の実施の形態】

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図1】本発明の自動二輪車用スタンドの第1実施例を示す概略正面図

【図2】図1の自動二輪車用スタンドの使用状態を示す概略正面図

【図3】自動二輪車に本発明の自動二輪車用スタンドを取り付け駐輪した状態を示す概略斜視図

【図4】本発明の自動二輪車用スタンドの第2実施例を示す概略正面図

10

【図5】図3の自動二輪車用スタンドの使用状態を示す概略正面図

【図6】本発明の自動二輪車用スタンドの第3実施例を示す概略正面図

【0020】

以下、本発明の自動二輪車用スタンドについて図面を用いて説明する。

【実施例1】

【0021】

本発明の自動二輪車用スタンド1は、自動二輪車20のエンジン、タンク及びマフラー等の取り付けられたフレーム21の略中央部分の下方側面Aに螺子22を介して水位置と垂直位置との間で回動自在に一端側を軸支した棒状のスタンド本体2と、該スタンド本体2の他端側に穿孔された貫通孔3に螺合した突起部4と、一端側をフレーム21に連結し他端側をスタンド本体2の略中央部分に連結したコイルバネ5から構成されている。

20

【0022】

上記フレーム21にはスタンド本体2が水平位置まで回動するとそれ以上の回動を阻止する水平係止部（図示せず）と、スタンド本体2が垂直位置まで回動するとそれ以上の回動を阻止する垂直係止部（図示せず）が形成されている。尚、前期係止部は別体の部材をフレーム21に取り付けることも可能である。

【0023】

上記スタンド本体2は、表裏両面を使用できるように直線棒状に形成され、フレーム21の取り付け方向に応じて表裏をそれぞれ利用する。即ち、従来のようにフレーム21の左側に取り付ける場合は表面を利用し、右側に取り付ける場合は裏面を利用する。

30

【0024】

また、貫通孔3も突起部4を表裏両面から螺合可能である。

【0025】

また、スタンド本体2は、表裏両面を利用可能であるために、コイルバネ5の連結部6も表裏両面に形成されているために、コイルバネ5を介してフレーム21とスタンド本体2を連結する場合、表裏両面のどちら側でも利用可能である。

【0026】

次に、上記自動二輪車用スタンド1を自動二輪車20に取り付け、駐輪及びその解除について説明する。

【0027】

40

先ず、自動二輪車20のフレーム21にスタンド本体2の一端側を螺子22で回動自在に軸支すると、前記スタンド本体2はフレーム21に形成された水平係止部と垂直係止部により、水平位置と垂直位置との間で回動する。

【0028】

次に、前記スタンド本体2の他端側の貫通孔3に突起部4を螺合し、スタンド本体2とフレーム21とをコイルバネ5を介して連結することで、水平位置では上方に回動（反時計方向）するように引っ張られ、垂直位置では、さらに回動（時計方向）するように引っ張られる。

【0029】

上記のように、自動二輪車用スタンド1はフレーム21に容易に取り付けできるために、

50

利き脚に応じて、フレーム 2 1 の左側又は右側に取り付けできる。

【 0 0 3 0 】

自動二輪車 2 0 を駐輪する場合は、まず、ハンドル 2 3 を両手で握持した状態で、スタンド本体 2 に取り付けられた突起部 4 を蹴り下げスタンド本体 2 を水平位置より垂直位置へ回動して、自動二輪車 2 0 を斜め状態で駐輪する。

【 0 0 3 1 】

次に、駐輪を解除する場合は、ハンドル 2 3 を両手で握持した状態で、スタンド本体 2 の突起部 4 を蹴り上げることで、スタンド本体 2 を垂直位置より水平位置に回動し、駐輪状態を解除する。

【 0 0 3 2 】

このように、本発明の自動二輪車用スタンド 1 は利き脚に応じてフレーム 2 1 のどちら側にも取り付け可能であり、スムーズにスタンド本体 2 を回動して駐輪及びその解除を可能とする。

【 0 0 3 3 】

(第 2 実施例) 本発明の自動二輪車用スタンド 1 は 略 H 字状に形成され、2 本の脚部 2 a、2 b を有するスタンド本体 2 と、該脚部 2 a、2 b の一端側に穿孔され、フレーム 2 1 に軸支する孔 7 と脚部 2 a、2 b の他端側に穿孔された貫通孔 3 と、該貫通孔 3 に螺合した突起部 4 と、前記フレーム 2 1 に一端側を連結しスタンド本体 2 に他端側を連結したコイルバネ 5 から構成されている。

【 0 0 3 4 】

次に、上記のように構成された自動二輪車用スタンド 1 を自動二輪車 2 0 に取り付けて使用する場合について説明する。

【 0 0 3 5 】

まず、自動二輪車 2 0 にフレーム 2 1 の略中央下面に脚部 2 a、2 b の上端側をそれぞれ回動自在に軸支し、コイルバネ 5 の一端側をフレーム 2 1 に連結し他端側をスタンド本体 2 の横部 2 c に連結することで取り付ける。

【 0 0 3 6 】

次に、突起部 4 を利き脚に応じて一方の脚部 2 a 又は 2 b の下端側の貫通孔 3 に螺合することで取り付ける。

【 0 0 3 7 】

上記のように取り付けたスタンド本体 2 を用いて自動二輪車 2 0 を駐輪する場合は、まず両手でハンドル 2 3 を握持し自動二輪車 2 0 を後方に移動するとともに、突起部 4 を脚で蹴り下げることで水平位置に位置するスタンド本体 2 を垂直位置へ回動して、自動二輪車 2 0 を駐輪する。

【 0 0 3 8 】

駐輪を解除する場合は、ハンドル 2 3 を握持して自動二輪車 2 0 を前方に移動するとともに突起部 4 を蹴り上げてスタンド本体 2 を水平位置まで回動して駐輪を解除する。

【 0 0 3 9 】

この際も、利き脚に応じて突起部 4 を 2 本の脚部 2 a に螺合できるので、スムーズに駐輪することができる。

【 0 0 4 0 】

特に、本発明の自動二輪車用スタンド 1 は、突起部 4 のみを利き脚に応じて取り付けることで容易に対応することができる。

【 0 0 4 1 】

(第 3 実施例) 本発明の自動二輪車用スタンド 1 は、第 1 実施例と同様にフレーム 2 1 の下方側面に取り付ける棒状のスタンド本体 2 と、該スタンド本体 2 の先端側に穿孔された貫通孔 3 と、該貫通孔 3 に螺合した突起部 4 から構成されている。

【 0 0 4 2 】

前記スタンド本体 2 は、2 分割されフレーム 2 1 に軸支する部分 2 d は直線状に形成され、地面に接する部分 2 e は湾曲して形成されている。これにより、地面に接する面積が増

10

20

30

40

50

加し安定して自動二輪車 20 を駐輪することができる。

【0043】

また、フレーム 21 への取り付け方向に応じて、湾曲した部分 2e のみ変更することでどちら側にも取り付けすることができる。

【0044】

このように、本発明の自動二輪車用スタンド 1 は、安定状態で自動二輪車 20 を駐輪することができ、特に重量のある自動二輪車 20 に対しての駐輪に対応することができる。

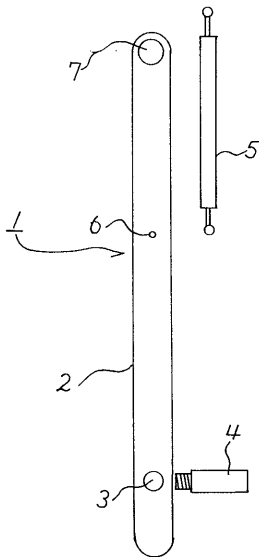
【符号の説明】

【0045】

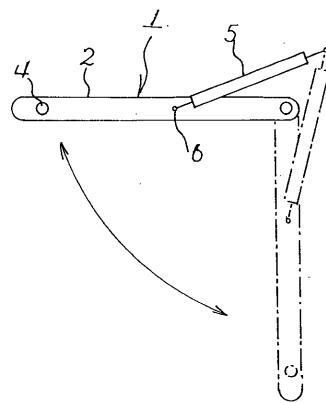
1 - 自動二輪車用スタンド、2 - スタンド本体、3 - 貫通孔、4 - 突起部、20 - 自動二輪車、21 - フレーム

10

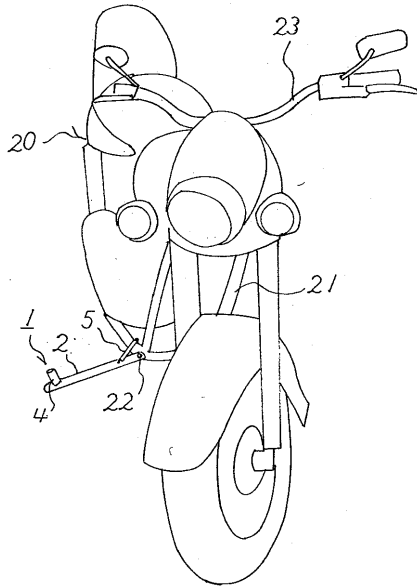
【図 1】



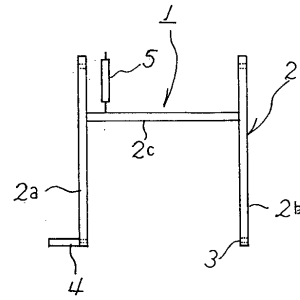
【図 2】



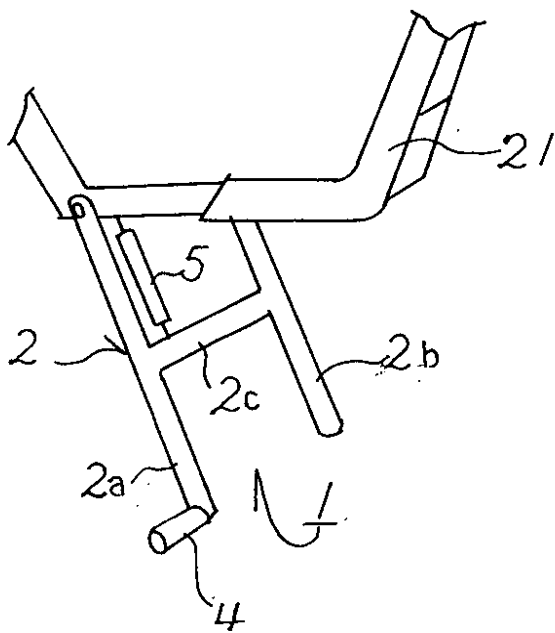
【図 3】



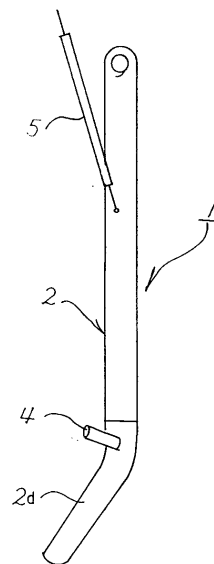
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【手続補正書】

【提出日】平成23年12月29日(2011.12.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動二輪車のフレーム下部面、又は下方側面に軸支し水平位置と垂直位置との間で回転するスタンド本体と、該スタンド本体先端側に取り付けられた突起部から構成された自動二輪車用スタンドにおいて、前記スタンド本体が直線棒状で表裏両面が同様に形成され、且つ先端側に貫通孔が穿孔され、突起部を表裏両面のどちらからでも該貫通孔に螺合でき、しかもコイルバネの連結部も表裏両面に形成されていることを特徴とする自動二輪車用スタンド。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決する本発明の自動二輪車用スタンドの解決手段は、請求項1に記載のように、自動二輪車のフレーム下部面、又は下方側面に軸支し水平位置と垂直位置との間で回転するスタンド本体と、該スタンド本体先端側に取り付けられた突起部から構成された児童二輪車用スタンドにおいて、前記スタンド本体が直線棒状で表裏両面が同様に形成され、且つ先端側に貫通孔が穿孔され突起部を表裏両面のどちらからでも該貫通孔に螺合でき、しかもコイルバネの連結部が表裏両面に形成されていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

この際、スタンド本体は直線棒状で表皮両面が同様に形成されているために、利き脚又は利き腕に応じて、直線棒状に形成されたフレームの左側面でも右側面でも取り付けでき、しかも突起部も貫通孔の両側どちらでも螺合でき、しかもコイルバネの連結部も表裏両側に形成されているためにスタンド本体を取り付けた方向に応じて対応することができる。